

# ほくたち・わたしたちの



「将来何になりたい?」と聞かれて「別にない…」と答えてしまおうそのキミ!ぜひこのコーナーを読んで下さい。キミが将来やりたいことが見えてくるかもしれません。

突然ですが、みなさんの好きな教科は何ですか?例えば、「英語が好きだ!」という人は、英語のどんなところが好きなのかを考えて下さい。「英語の本を読むのが好きだ」「英語をしゃべるのが好きだ」一口に好きといっても、好きにもいろいろありますよね。「教科の好きなどところ」||「自分が専門で学びたいこと」です。「自分が専門で学びたいこと」の先に、キミのやるべき仕事があります。

さて、今回紹介するのは、「文学・語学の分野」です。文学・語学は、どちらも人間の言葉や文字を研究する学問です。動物の中で人間だけが使いこなせる「言葉」について、文化の側面から学ぶのが「文学」、コミュニケーションの道具という側面から学ぶのが「語学」であり、研究対象とアプローチ法が異なっています。

## 分野の特徴

●**文学による表現を味わい、人間の奥深さを学ぶ「文学」**  
文学作品を読んで、人間の心の中(奥深さや罪深さ等)を味わうとともに、作品が書かれた時代背景などを研究します。また、作者の人生を追い、作者の物の見方や考え方を探ることも重要なテーマです。これらを通して、人間の生き方について深く考え、自分自身の物の見方を養うことが究極の目標といえます。

●**言葉を科学的に研究し、対話と交渉能力を養う「語学」**  
語学は「言語」、とくに私たちが日常的に使っている「話し言葉」を中心に研究する学問です。人間が「道具」として使う言葉について研究することが語学のテーマです。語学で重視されるのは、日常的な会話をはじめ、自分の意見を表現するとき、人と議論するときなどに必要な外国語の知識と対話能力です。専攻する外国語のスキルに加え、世界の共通語である英語を身につけるのが普通です。

## 何を学ぶ?

●**文学作品を通じて、洞察力と思考力を身につける**  
「文学」を学ぶ基本は、作品に描かれた「人間」を追体験し、喜怒哀楽に共有することです。大学ではまず、さまざまな文学作品に触れて、解読法や表現技法(語彙・比喩・語り口)、鑑賞法など、文学研究のスキルを身につけます。たとえば日本文学では、古典文学や近現代の小説、漢文学までバランスよく学んだのち、専攻テーマを選ぶのが普通です。また外国文学では第一にその国の言語のマスターを目指します。小説や詩歌、雑誌記事、評論などを原書で読みこなすとともに、その国の文化や社会、歴史、政治の知識を学びます。

時代や国ごとの「文学概論」「文学史」「作家論」といった講義科目に加えて、数人で順番に読みながら議論する「講読」、一人の発表をもとに、質疑応答や討論を進める「ゼミ(演習)」という授業形式もあります。作品の世界を深く理解することに加えて、作品と作者を批評的な視点で捉える姿勢を養うことで、思考力や洞察力を鍛錬します。

●**コミュニケーション能力を軸に、言語の知識とセンスを磨く**  
「言語学」でことばの仕組みや構造についての基礎を学ぶとともに、《聞く・話す・読む・書く》という外国語の運用スキルを高めることが、「語学系」の大きな柱となります。母国語の話し手によるニュースや演説の録音を聞き取ったり、実際に対話や討論など、さまざまなコミュニケーション

ニケーションを体験することで、局面局面に応じたコトバの用法を体得します。会話に関しては、日常会話からビジネスの場面で使いこなせるレベルまで、文章に関しては、新聞記事や小説、基本的な論文が読める程度まで、つまり海外での生活に不自由のないほどにマスターすることを目指します。授業では、各地域の文化や社会をトータルに学ぶケースが多いですが、語学の専門家となるために通訳や翻訳への専門コース、「比較文化」「地域研究」を中心とした各国の社会事情を学ぶコース、国際関係や国際協力を専攻するコースなど、いろいろな学び方が可能です。

## 学問トレンド

●**文学・語学・文化を統合して外国を研究する学科も登場**  
文学と語学の研究には、言葉による表現を扱うという共通点から、密接な関係があります。そこで近年では、より多角的な学問研究をめざすために、文学・語学系の学科を統合する大学が増えています。たとえば、伝統的な「英文学科」と「英語学科」を統合した「英語英文学科」、さらに文化の側面まで含めた「英語英米文化学科」などがあります。また、別のアプローチとして、言語を軸にラテン地域の文化や社会を総合的に扱う「スペイン・ラテンアメリカ学」や、コミュニケーションの側面を重視する「英語コミュニケーション学科」など、いろいろなバリエーションがあります。

そのほか注目されるのが、近年のめざましい経済発展で躍進したアジア圏の言語です。「中国語学科」「韓国語学科」などがあります。その他の言語では「アジア学」「東南アジア課程」など地域をまとめた学科として設置され、個別の言語はその中に専攻やコースとして置かれるケースが増えつつあります。

(参考: 大学逆引き辞典 <http://www.gyakubiki.net/>)

## この職業を探せ!

前号の正解は、トリマーでした。22教室に貼ってある「13歳のハローワークマップ」の中から、次のヒントに合う職業を探してね。

**ヒント1** 医師の指示に従って、患者の採血をしたり、生物学的な検査を行う。

**ヒント2** 職場は病院のほか、薬品メーカー、研究所などがある。

**ヒント3** 短大や専門学校を卒業して、国家試験を受けるのが一般的。

(参考: 13歳のハローワーク公式サイト)

## スゴいパワーぶんぼうぐ

みなさん、これ(下の写真)は何だと思えますか。ペン? ペン型の消しゴム? 実は、コンパスです。キヤップを外し、上下を反対にすると、コンパスになる。まるで変身ロボットのような感じですよ。よく考えられていますね。



コンパスは、算数の授業で使いますが、筆箱には入らないし、持ち運びにはちよつと不便で、デザインも何十年と変わっていない(最近カラフルなものを見るようになりましたが)、というのが、私のイメージでした。でも、このコンパスならポケットにも、ペンケースにも入り、かつこよく収まりますね。もちろん、見た目だけではなく、使いやすくてきています。



最近、文具店に行くのとこれと同じような、一見ただかわからない、おもしろくて便利な文具がいろいろ出ていますよ。また紹介します。(手島)